

安佐医師会サーベイランス週報 第49週 平成25年12月2日(月)～平成25年12月8日(日)

地区	地 区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント
	定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	25定点		
	対象人口	71,382名	83,635名	37,491名	44,128名	57,562名	65,379名	20,560名	9,010名	1定点	389,147名		
	定点数当り人口	17,846名	16,727名	18,746名	22,064名	14,391名	13,076名	10,280名	9,010名	1定点	9,010名		
1	RSウイルス感染症	3					1				4	↓	<p>【第49週安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. RSウイルス感染症:4件</li> <li>2. 咽頭結膜熱:11件と多し</li> <li>3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</li> <li>4. 感染性胃腸炎:127→172件と増加</li> <li>5. 水痘:18→32件・・・高陽</li> <li>11. 流行性耳下腺炎:26件 ・・・うち可部24件大変多い</li> <li>12. インフルエンザ:A型1件</li> </ol> <p>&lt;安佐地区感染性胃腸炎の推移&gt;</p> <p>・さらに増加。ほとんどがノロウイルスの感染 (IASRデータより)</p> <p>&lt;今期これまでのインフルの年齢別罹患状況&gt;・・・広島市医師会インフルエンザ発生動向調査より(11月9日現在)</p> <p>・A型19件。うち0～9才は1件のみ。20～40才代に多い。 ・今後、親から小児に感染し、学校等でさらに拡大するものと考えられる。</p>
2	咽頭結膜熱	6	1				2	2			11	↑	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1	1							7	↑	
4	感染性胃腸炎	34	3	26	2	47	55	4	1		172	↑	
5	水痘	5	4	1	1	4	17				32	↑	
6	手足口病												
7	伝染性紅斑												
8	突発性発しん	1			1	4					6	→	
9	百日せき												
10	ヘルパンギーナ												
11	流行性耳下腺炎		1			24	1				26	↑	
12-A	インフルエンザ (A型)			1							1	↓	
12-B	インフルエンザ (B型)												
13	急性出血性結膜炎												
14	流行性角結膜炎		2								2	↑	
15	麻しん												
16	風しん												
17	MCLS (川崎病)			1						2	3	↑	
18	髄膜炎 (細菌性)												
19	髄膜炎 (無菌性)									1	1	↑	
20	マイコプラズマ肺炎			1							1	→	
21	クラミジア肺炎												
22	その他												
合計		51	12	31	4	81	79	4	1	3	266		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言“**イトコール**” 安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症 (O157、26、など)、麻しん、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報  
保健センターへの届出用紙有り

・A型19件。うち0～9才は1件のみ。20～40才代に多い。  
・今後、親から小児に感染し、学校等でさらに拡大するものと考えられる。